



NS WORK株式会社

デジタルトランスフォーメーション(DX)企業方針

目次

1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性
2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策(戦略)
3. 戦略の達成状況に係る指標
4. 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信
5. 事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握
6. サイバーセキュリティに関する対策の明確な策定及び実施

1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性

デジタル技術の影響

「競合他社の増加」、「ニーズの低下」において影響があると認識しております。デジタル技術が発展することで基幹業務であるカーディテールに関する技術情報がさらに容易に入手できる可能性、UXに重点を置いたサービスの増加によって技術の獲得性が増加する可能性があります。これにより、競合他社が増加し、さらには専門業者に依頼せずユーザー自身が手軽にコーディングを行えるようになることを認識しております。また、ITツールやシステムを自社で開発・運用・保守を行う企業が増加し、ニーズが低下していくと認識しております。

1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性 経営ビジョンの策定

- ・カーディテール事業

一般顧客の20%～30%増加を目指します。

- ・小売り事業

販路を拡大し、全国のホームセンター・自動車用品店での販売を目指します。

- ・システム事業

中小企業、特に自動車修理事業を基幹事業としている企業をターゲットとし、ITツール・システムの販売を目指します。

1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性 ビジネスモデル

- ・カーディテール事業

業務の最適化を行い、すべてのお客様に満足していただけるように技術向上を行います。

- ・小売り事業

商品開発に注力し、商品力の強化を行います。

- ・システム事業

社内システムを積極的に開発し、サービスラインナップの増加を行います。

2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策(戦略)

施工時間の情報収集を行い、社内システムを開発することで業務の最適化・効率化を図ります。
また、ユーザーからの意見・社内ノウハウをデータ化することでよりクオリティの高い商品を開発していきます。そして、自社開発したITツール・システムを自動車修理企業へ提案し、業界全体がDXを推進するように努めます。

2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策(戦略) 戦略を効果的に進めるための体制

下記に示す代表取締役社長を委員長とした「DX推進委員会」を設置。委員会にて決定したシステムをプロジェクトマネージャーを中心に社内開発を行います。また、社員へのシステム利用方法の教育を徹底し、現場主任者から報告される実作業者からのフィードバックを基にシステムを改善し続けます。

委員長

プロジェクトマネージャー

現場主任者

2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策(戦略) 環境整備の具体的方法

デジタルトランスフォーメーションの取組として、
以下のITシステム・デジタル技術活用環境の整備に取り組みます。

- ・ 必要システムの社内開発

「DX推進委員会」で決定した必要システムを社内で開発し、業務の最適化・効率化そして蓄積データの活用を行います。

- ・ クラウドストレージの利用

クラウドストレージを利用することで必要な際に必要な分だけデータを閲覧できるように環境の整備を行います。

3. 戦略の達成状況に係る指標

- ・ カーディテール事業

月毎施工台数

- ・ 小売り事業

月毎商品販売数

- ・ システム事業

年毎システム販売数

4. 実務執行総括責任者による効果的な戦略等を図るために必要な情報発信

弊社ブログ又は代表取締役社長運用SNSにて随時発信いたします。

ブログ：<https://ameblo.jp/nsneox/>

SNS：<https://mobile.twitter.com/nswork1>

5. 事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握

「DX推進指標」による自己分析を行い、IPAの自己診断結果入力サイト
(<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxpi.html>)より入力・提出済み

6. サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施

SECURITY ACTION制度に基づき二つ星を自己宣言
(<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/index.html>)